

問題別・領域別正答率

国語

領域名	設問数	全体の正答率	あなたの正答率
放送による聞き取り	4	92	100
漢字の読み取り	4	67	100
漢字の書き取り	4	55	100
文法・語句	3	64	67
説明的文章の読解	7	53	43
文学的文章の読解	7	64	71
古文の読解	5	49	60

正答率	解答	問題番号	問題内容
	○	二(2)	漢字の読み: 襲って(おそって)
	○	一(3)	放送内容の把握
	○	六(3)	空欄補充
	○	一(4)	放送内容の把握
	○	一(2)	放送内容の把握
	○	六(6)	文章内容の把握
	○	五(2)17	文章内容の把握と表現
	○	七(1)	歴史的仮名遣い
	○	六(1)23	文章内容の把握と表現
	○	四(2)	敬語の種類
	○	一(1)	放送内容の把握
	○	四(3)	漢文の返り点の知識
	○	三(2)	漢字の書き: 秘めて
	○	五(3)	文章内容の把握
	○	二(1)	漢字の読み: 鉛(なまり)
	×	五(5)	意味段落の構成
	×	六(4)	文章内容の把握
	○	七(3)	語句の意味
	○	五(1)	文章内容の把握
	○	三(1)	漢字の書き: 設ける
	○	二(4)	漢字の読み: 要衝(ようしょう)
	×	五(4)	文章内容の把握
	○	三(3)	漢字の書き: 停留
	×	七(5)	文章内容の把握
	○	二(3)	漢字の読み: 僅少(きんしょう)
	○	六(5)	文章内容の把握
	○	六(2)	文章内容の把握
	○	七(2)	文章内容の把握
	○	三(4)	漢字の書き: 検討
	×	六(1)24	文章内容の把握と表現
	×	四(1)	文の係り受け
	×	五(2)18	文章内容の把握と表現
	×	七(4)	文章内容の把握と表現
	×	五(6)	文章内容の把握と表現

不正解の問題は必ず書き直しましょう。わからないところは、先生に聞いてみても良いでしょう。書き直し領域は特に【説明的文章の読解】、次に【古文の読解】です。

数学

領域名	設問数	全体の正答率	あなたの正答率
数と式の計算	11	72	100
方程式	3	69	100
資料の活用・確率	2	32	50
平面図形・空間図形	5	58	80
関数	3	38	100

正答率	解答	問題番号	問題内容
	○	1(1)	正負の数の計算
	○	1(3)	多項式の計算(加法と減法)
	○	1(6)	因数分解
	○	1(5)	平方根の計算
	○	5(1)①	表中に数を並べる(規則性)
	○	4(1)b	三角形の合同の証明
	○	2(1)	方程式の解
	○	1(2)	累乗を含む正負の数の計算
	○	1(4)	連立方程式を解く
	○	4(1)c	三角形の合同の条件
	○	4(1)a	三角形の合同の証明
	○	5(2)c	表中に数を並べる(規則性)
	○	5(2)d	表中に数を並べる(規則性)
	○	5(1)②	表中に数を並べる(規則性)
	○	3(2)①	長さを求める
	○	4(2)	三角形をみつける(等しい面積)
	○	3(1)	直線の式を求める
	○	2(3)	体積を求める(四角錐)
	○	5(3)	表中に数を並べる(規則性)
	○	2(4)	確率(2つのさいころ)
	○	5(2)e	表中に数を並べる(規則性)
	×	2(2)	平均値を求める
	×	2(5)	作図(直角三角形をつくる)
	○	3(2)②	座標を求める(長さの指定)

不正解の問題は必ず書き直しましょう。わからないところは、先生に聞いてみても良いでしょう。書き直し領域は特に【資料の活用・確率】、次に【平面図形・空間図形】です。

英語

領域名	設問数	全体の正答率	あなたの正答率
リスニング	11	50	91
文法・文構造	5	57	60
英作文	4	15	50
短文読解	5	64	100
長文読解	3	25	67
対話文読解	4	65	100

正答率	解答	問題番号	問題内容
	×	5(2)	How many + 複数名詞~?
	○	7(3)①	英語の質問と合う英語を選ぶ
	○	7(1)A	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	9(1)	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	3No.1	対話を聞いて英語を選ぶ
	○	9(2)	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	9(3)	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	3No.2	文章を聞いて英語を選ぶ
	○	5(4)	語順整序
	○	7(3)②	内容と合う英語を選ぶ
	○	1No.3	対話の最後の発話に対する応答
	○	4No.1②	文の空欄に単語のつづりを完成
	○	5(1)	名詞の複数形の疑問文
	○	7(1)B	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	9(4)	文脈に合わせて英語を選ぶ
	○	1No.1	対話の最後の発話に対する応答
	○	2No.1	対話を聞いて該当する絵を選ぶ
	○	5(3)	語順整序
	○	4No.1①	文の空欄に単語のつづりを完成
	○	7(2)②	内容と合う日本語を選ぶ
	○	8(3)	内容と合う英語を選ぶ
	○	4No.2①	文の空欄に単語のつづりを完成
	○	2No.2	対話を聞いて表の中の符号を選ぶ
	×	5(5)	語順整序
	○	6⑦	英語による自己表現
	○	1No.2	対話の最後の発話に対する応答
	○	6⑧	英語による自己表現
	×	4No.2②	文の空欄に単語のつづりを完成
	○	8(4)	文脈に合う英語を答える
	×	8(1)	文脈に合う英語を答える
	×	7(2)①	英語の質問に英語で答える
	×	8(2)	英語の質問に英語で答える

不正解の問題は必ず書き直しましょう。わからないところは、先生に聞いてみても良いでしょう。書き直し領域は特に【英作文】、次に【文法・文構造】です。

社会

領域名	設問数	全体の正答率	あなたの正答率
地理総合	5	53	80
日本地理	4	48	50
身近な地域の調査	2	75	50
世界地理	6	44	67
弥生時代~平安時代	6	43	67
鎌倉時代~室町時代	6	45	67
安土桃山時代~江戸時代	6	52	67

正答率	解答	問題番号	問題内容
	○	2(5)①	方位の読み取り
	○	6(1)	織田信長の政策
	○	3(2)	インドの伝統料理
	○	1(3)	日本の資源の輸入先
	×	2(4)	瀬戸内工業地域
	○	1(5)	地球温暖化
	○	4(5)	浄土の教え
	×	2(5)②	地図記号
	○	4(4)	撰閣政治
	○	6(3)	江戸幕府の農民の統制
	○	5(4)	承久の乱
	○	3(6)	コンゴ民主共和国の特色
	○	1(1)	日本の貿易の特徴
	×	5(1)	鎌倉幕府の位置
	○	4(1)	大和政権
	×	4(2)	奈良時代のできごと
	○	5(2)	鎌倉幕府の主従関係
	○	2(2)	県庁所在地名
	○	1(2)	資料の読み取り
	○	3(1)	大豆の生産国
	×	2(3)	促成栽培
	○	6(2)	太閤検地
	×	6(4)	北政文化
	○	5(5)	南北朝の動乱
	○	6(5)	幕末のできごと
	○	5(3)	執権政治
	×	6(6)	異国船打払令
	○	2(1)	都道府県の特色
	○	3(4)	カナダの特色
	×	4(6)	飛鳥時代のできごと
	×	3(5)	資料の読み取り
	×	5(6)	天正遣欧少年使節
	×	3(3)	オーストラリアの地形
	×	1(4)	ヨーロッパの環境問題
	○	4(3)	弥生時代の日本

不正解の問題は必ず書き直しましょう。わからないところは、先生に聞いてみても良いでしょう。書き直し領域は特に【身近な地域の調査】、次に【日本地理】です。

理科

領域名	設問数	全体の正答率	あなたの正答率
小問集合	4	66	50
プレートと地震	4	45	75
物質の融点、沸点	4	53	75
電流とその利用	4	36	50
植物と動物の細胞	4	55	75
前線と天気の変化	4	45	75
鉄と硫黄の化合	4	38	75
サクラの花のつくり	4	58	75
ばねに加える力とばねののび	4	53	75

正答率	解答	問題番号	問題内容
	○	5(3)y	単細胞生物
	○	2(1)	プレートの名称
	○	5(3)x	葉緑体
	○	8(1)	ルーペ
	○	1(1)	ヒトの神経系
	○	9(3)	つり下げのおもりの数
	○	8(2)	ルーペの使い方
	○	6(2)	寒冷前線が通過した時間帯
	○	1(4)	プラスチック
	○	3(3)a	混合物
	○	6(1)	天気記号
	○	9(2)	フックの法則
	×	1(3)	海陸風
	○	4(2)	交流
	○	3(1)	沸点とは
	×	1(2)	全反射
	○	7(3)	磁石およびうすい塩酸との反応
	○	2(2)	プレートが移動する向き
	○	7(2)	化学反応式
	○	8(3)	サクラの花における受粉
	×	3(2)	30°Cで液体の物質
	○	9(1)	弾性力
	○	3(3)b	混合物の融点、沸点
	○	2(3)x	海溝
	○	6(4)	移動性高気圧
	×	4(3)y	消費する電力量
	×	8(4)	サクラと同じなま
	×	9(4)	作図: グラフ
	○	4(3)x	抵抗の大きさ
	○	7(4)	化学変化と物質の質量
	×	4(1)	電気器具のつなぎ方と電圧
	×	5(1)	顕微鏡を置くところ
	×	7(1)	反応が続く理由
	○	5(2)	顕微鏡の操作手順
	×	2(3)y	大きな地震の震源の深さ
	×	6(3)	作図: 温暖前線の断面のようす

不正解の問題は必ず書き直しましょう。わからないところは、先生に聞いてみても良いでしょう。書き直し領域は特に【小問集合】、次に【電流とその利用】です。

【保護者の皆様へ】 今回の結果はいかがでしたか? 個人成績表を分析し、「伸ばすべきところ、苦手なところ」をしっかりと振り返るようご指導下さい。特に「苦手なところ」は、問題を解く際に諦めやすく、学習の際も「ほったらかし、後まわし」にしまいがちです。この部分を克服できないと、得点アップは望めません。入試の平均点は年によって違います。比較的高い場合、得点の低い教科があると、挽回が難しくなります。偏りなく得点できるように、各教科の学習をバランスよくやるよう、時間を有効利用させてください。

8月以降の学習……受験生も一気に動く時期。遅れをとらないように取り掛かりましょう!

- ① 3年生の学習は普通の授業を活用。わからない部分は積極的に先生に質問しよう!
- ② 基礎をしっかりと固め、9月後半からは入試問題に対応できる力をつけるために、応用問題に取りかかりましょう!
- ③ 苦手分野は今のうちに解消しよう! 入試本番ギリギリでは間に合いません。今すぐに対策を!

